

## 組織・経営基盤を強化し

## 林業の活性化を図る

ACTIVE KUMIAI

山梨県森林整備生産事業協同組合は、国の施策として間伐促進総合対策事業が実施されることとなった昭和56年、植栽、保育、伐採、運搬と一連の各事業を総合的に実施する林業者によって組織化された協同組合である。昨年末にはこれまで関連団体としてそれぞれ活動を行っていた山梨県県有林造林推進協議会、山梨県保安林整備推進協議会の各機能を組合に集約し、さらなる組合員の一致結束、経営基盤の強化を図ったところである。

設立以降、森林整備に関する共同受注事業を中心に事業を展開、近年では入札制度上の変更及び経済情勢の変化等を背景に、組合受注による組合員への事業配分から組合員企業の直接受注へと変化はあるものの、比較的小規模な事業者が多いことから、就労条件の改善、社会保険等の加入促進、林業労働安全衛生確保のための教育訓練等組合員事業を補完するソフトな事業を中心に今も活動は活発に行われている。

昨年度は、山梨県の「森林整備加速化・林業再生事業」として、森林作業道作設オペレーター育成に係る支援事業を受託。森林が県土の78%を占める全国有数の森林県である山梨県において県産材の利用促進は大きな課題となっており、これに結びつく安定的な木材供給を目指す、森林整備及び木材の伐採・搬出作業の効率化を図る森林作業道開設に必要な路網整備の推進のための人材育成事業を行った。この他、将来的に林業を担う人材開発のための「シイタケ植菌体験」など一般への森林・林業への理解と関心を深める活動も積極的に行われており、山梨県の林業活性化のため無くてならない組合である。

●山梨県森林整備生産事業協同組合

☎0555-227-6067



森林作業道作設オペレーター育成研修風景